

▲▲▲それでもロートル4人組は行く・・・▲▲▲
ブリザード吹き荒れた奥日光スノーシューハイク

(報告) O

◎山行期日：2020年2月18～19日

◎行先：奥日光・湯本湯ノ湖から刈込湖周辺

◎パーティー：A (L)、O、N、Fr 4名

恒例のロートル4人組の今年のスノーシューは、奥日光・湯本温泉の硫黄泉濁り湯で美肌を潤し、湯ノ湖や刈込湖のスノーシューで雪と戯れるというご老体セレブ向きの計画となった。

ここの温泉は硫化水素であるから、美肌ツルツル、糖尿病・神経痛・慢性婦人病・病後回復などにも効くと効能書きに記されているが、マ、前者は我々には既に間に合わないのであるが、後者の方は幾許かの靈験があるかも知れん。

さて。今年の冬はどこも雪が少なく、スキー場やリゾート地は商売上がったりでお気の毒なことであるが、登山者やスキーヤーにとっても雪不足は欲求不満気味のノイローゼを併発する結果となる。

ご多分に洩れず奥日光も雪不足で、いつもならクロスカントリー・スキーヤーやスノーシュー・ハイカーで賑わい真っ白な雪原となっている筈の戦場ヶ原も枯れすすきの地面剥き出しの態。

初日は、深々と雪が積もった？湯ノ湖畔をスノーシューで周回するというルンルン計画であったが、周回コースの入り口には「危険につき入域禁止」のロープが張られていてガッカリ。

それでは真昼間から温泉にでも浸かって雪見酒と洒落込めると目論んだのであるが、Aリーダーの判断で宿のチェックインが始まる迄その辺をスノーシューで足慣らしということになり、源泉井小屋が建ち並ぶ湿原や薬師如来の温泉寺を歩き廻ったが、段々風が強くなってきて地吹雪になってきた。

木道で吹き飛ばされそうになったが何とか手摺に掴まって堪え、早々に宿に逃げ帰った。

夜のTV気象情報では風速22m/sだったと言っていたので南極程ではないが、かなりのブリザードだった。これが山中の稜線などだったら、吹き飛ばされて西方浄土(私の場合は血の池・針の山)に直行していたであろう。

湯本温泉には10軒以上のホテルや旅館が建ち並んでいたが、シャッター街になっている建物も多く、そうでなくても近年の温泉観光地不振に加えて、雪不足やら折からの新型コロナウイルス伝染騒ぎで殆ど人通りもなく淋しかった。それでも我々が泊まった「おおり山荘」には50人程の宿泊客があつて何とか営業を続けているが、100室もあるような大きなホテルであるから維持も大変なことであろう。

さて、翌日は、昨日と打って変わった無風快晴の上天気。パーカーも要らないほど気温も高い。源泉地の湿原から急斜面を登り始めると段々に積雪も増えて来て、何とかスノーシューが履けるような状態になってきた。ヤレヤレ。湯元の少し奥にある蓼ノ湖^{うみ}辺りまで登ると、夏道には深々としたサラサラ積雪がありスノーシューがかなり潜る状態になってきたが、先蹤者はウサギとカモシカの足跡だけでバージンスノーを踏む感触は久しぶりで気持ち良かった。この道は静謐な通好みの道のようにであった。

ラッセルを交替しつつ小峠の先まで登ると、深く切れ込んだ溪の正面に於呂俱羅山というピラミッドが見えてきた。Aさんによれば、この山は標高2020mで今年の山になったから山王峠方面からの登山者が増えているのだそう。西側に眼を転ずると、丸沼方面に続く金精峠を挟んで北の温泉ヶ岳から南の五色山・前白根山に続く山稜が白く輝いていた。前白根山のすぐ奥には関東以北最高峰の日光白根山2578mがあるそうだが、これは前白根山の陰に隠れて見えなかった。

天気も良いし、この辺りで陽光に融かされながらノンビリするのも悪くないと、計画目標地点の刈込

湖の手前の小峠で打ち切って A さんが沸かしてくれた熱々の甘酒に舌鼓を打ち、ブラブラと往路を湯本まで戻った。帰途、湯ノ湖南堤から落ちる大滝の「湯滝」に立ち寄った。落差 70 メートル、幅 35 メートルの大きな滝を激流が轟々と滑り落ちていた。私は沢登り好きではあるが、この水流にはちょっと手が出せそうに無かった。

特筆すべきは、ホテルのカラオケルームだった。カラオケ・リモコンの操作法が分からずウロウロするのは毎度のことであったが、今回は温泉寺にお参りしたためか良い霊験と御利益があった。

秋田県から来たというプロ並みの中年ご夫婦が歌った吉幾三の「雪国」の採点が 98 点と出た次に、我が東洋ニイサンと智代姐サンが肩を組んで唸ったデュエット「北上夜曲」がなんと 92 点という高点数と出た。秋田県の話では、カラオケで 90 点以上の点数が出るのは滅多に無いことで、お二人はなかなか筋が良いとべた褒めであった。98 点氏から褒められるのだから、我が方も捨てた物ではない。誠に結構、結構。



(小峠付近にて。A さん撮影)

《記録》(リーダーの記録による)

- 18 日 (火) 8:00 上尾駅前出発 関東平野は快晴なれど、目指す男体山方面は雪雲の中
11:00 奥日光湯元温泉「おおり山荘」着 車内で昼食後周辺散策
折から風雪激しくなり湯ノ湖一周遊歩道は閉鎖。湯畑、温泉寺等へ
地吹雪に煽られ這う這うの体でホテルに逃げ込む
- 19 日 (水) 8:20 湯畑登山口出 ツボ足
8:45 金精道路・刈込湖登山口
9:00 " 出発
10:20 小峠 昼食
11:10 " 下山へ
11:50 金精道路登山口着
12:20 ホテル前下山
12:50 帰路へ 途中湯滝見学

(了)